

# SURUGA bank Hello Book 2016

ミニディスクロージャー誌

第205期営業のご報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

## 当社の概要 平成28年4月30日現在

設立	明治28年10月19日		
本店	静岡県沼津市通横町23番地		
店舗数	国内	132	
	静岡県内	77	神奈川県内 39
	東京都内	7	北海道内 1
	宮城県内	1	埼玉県内 1
	千葉県内	1	愛知県内 1
	大阪府内	1	京都府内 1
	広島県内	1	福岡県内 1
資本金	30,043百万円		

## 目次

ごあいさつ	1
営業の概況	3
不良債権の状況	8
財務情報	10
株式についてのご案内	16
トピックス	17
“夢”の応援活動	18
CSR活動 社会・地域とのつながり	19
主なインターネット支店一覧	20
営業店舗網	21

本誌の表示金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

## ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申しあげます。ここに当社第205期の営業の概況についてご報告申しあげます。

### 【金融経済環境】

当期における日本経済は、年度前半は企業業績や雇用環境の改善などを受け、緩やかな回復の動きがみられました。その後、中国をはじめとする新興国経済の景気減速懸念や米国の金利上昇懸念に起因するグローバルな金融市場の動揺から、円高が進行し、輸出企業を中心に景況感が悪化するなど、景気足踏みの動きがみられました。

足元の日本経済は、平成28年3月調査の日銀短観において、大企業・製造業の業況判断指数が前回調査から低下するなど、景況感の悪化がみられますが、良好な雇用環境は継続しており、また、実質所得の増加により個人消費が回復することも予想されることから、先行きは持ち直していくことが期待されます。日銀のマイナス金利政策が設備・住宅投資などの実体経済に好影響を及ぼすことに加え、政府の経済政策が効果を発揮することが待たれるところであります。

### 【業界動向】

金融機関におきましては、日銀の掲げる2%の「物価安定の目標」の実現に向けて実施された「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の金融環境下において、その金融仲介機能の適切な発揮により、個人や企業、地域の経済活動に貢献していくことが期待されております。金融安定の確保を図り、お客さまとの信頼関係を築くために、各金融機関は特色ある経営戦略を確立し、基礎的な収益力ならびに自己資本の充実を図るとともに、経営の効率性ならびに安全性を高め、将来を見据えた持続可能で強固な経営基盤を構築すべく取り組んでおります。

### 【当社の業況】

当社は、個人ならびに中小企業のお客さま向けのリテール業務を中心として、お客さまの期待を超えたサービスをご提供し続け、社会から不可欠の存在として高く評価されることを目標とするとともに、当社グループ全体の収益拡大および健全な財務体質の構築に努めております。当期におきましては、当社のコアビジネスのひとつである個人ローンの残高が着実に増加し、業務粗利益、業務純益、コア業務純益、経常利益、当期純利益はいずれも最高益を更新することができました。年間配当金につきましては、業績等を総合的に勘案し、当初予定より1円増配し、1株あたり20円（中間配当金9.5円・期末配当金10.5円）としました。

## 【当期中の取組み】

新たな取組みにつきましては、平成27年4月より、株式会社Tポイント・ジャパンと提携し、インターネット支店「Tポイント支店」を開設しました。Tポイント支店では、Visaデビットカードの利便性とTポイントを貯めて使う楽しさの双方を兼ね備えた日本初の「デビットTカードスルガバンク」の発行を開始しました。また、本カードをお申込みいただいたその場でお受け取りいただける日本初の「即時発行サービス」を導入しました。

新商品・新サービスにつきましては、平成27年7月より、株式会社リクルート住まいカンパニー（以下、「リクルート住まいカンパニー」）と提携し、リクルート住まいカンパニーの住宅情報サービス「SUUMO」をご利用のお客様に対し「SUUMO提携住宅ローン」のお取扱いを開始しました。また、より一層お客様に幅広いご提案ができるよう、平成28年1月より、神奈川県立がんセンターにおいて重粒子線治療をサポートする専用ローン「神奈川県立がんセンター重粒子治療プラン」のお取扱いを開始し、平成28年2月には、社会問題化する空き家の課題解決をサポートする「空き家解決ローン」のお取扱いを開始しました。今後も、お客さまの多様なライフスタイルに幅広く対応し、さまざまな資金ニーズにお応えできるよう取組んでまいります。

営業店舗につきましては、平成27年4月に「d-labo（夢研究所）」を併設した「たまプラザ支店」、インターネット支店「Tポイント支店」、および「湘南T-SITE出張所」をそれぞれ開設しました。店舗の移転などによるリニューアルオープンにつきましては、平成27年6月に大阪支店広島出張所を「広島支店」としてリニューアルオープンしました。また、平成27年9月に沼津駅支店、平成27年11月に相模原支店、焼津支店および磐田支店、平成27年12月に伊豆稲取支店、平成28年3月に富士鷹岡支店をそれぞれリニューアルオープンしました。

当期末の店舗数はインターネット支店の12店舗を含め132か店となっております。また、当社の基幹事業の一つである住宅ローン等のご相談窓口「ドリームプラザ」、「ハウジングローンセンター」につきましては、当期末22か所で営業しております。

当社におきましては、平成27年10月19日に創立120周年を迎えました。明治28年に当時日本最小の銀行として誕生して以来、地域の発展のために歩を進めてまいりました。これもひとえに、これまで皆さま方からいただいたご支援の賜物であります。

今後は、平成28年4月よりスタートする新しい長期経営計画「Aim25」のもと、「ライフ アンド ビジネスナビゲーター（夢先案内人）」として、「お客さまの〈夢〉の実現」をより積極的に、より能動的にサポートし、お客さまの期待を超えた良質のサービスをご提供できるよう、当社グループ社員一丸となって努力してまいります。

皆さま方には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



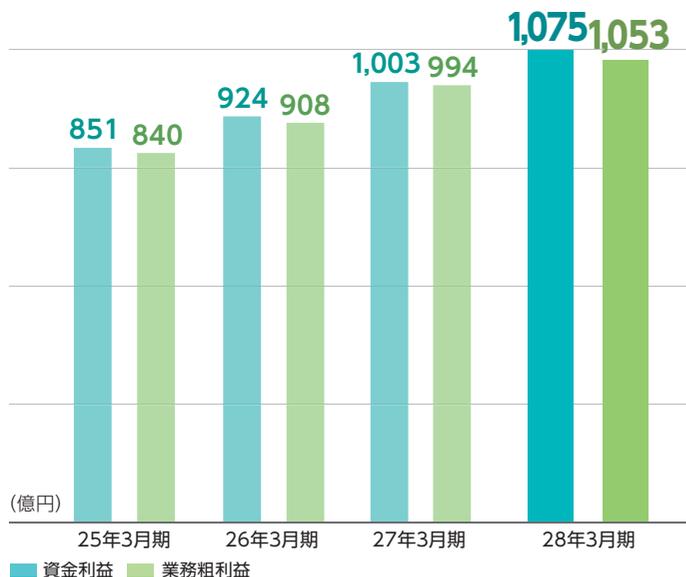
平成28年6月

社長

岡野光喜

## 営業の概況

当期の業績につきましては、次のとおりです。

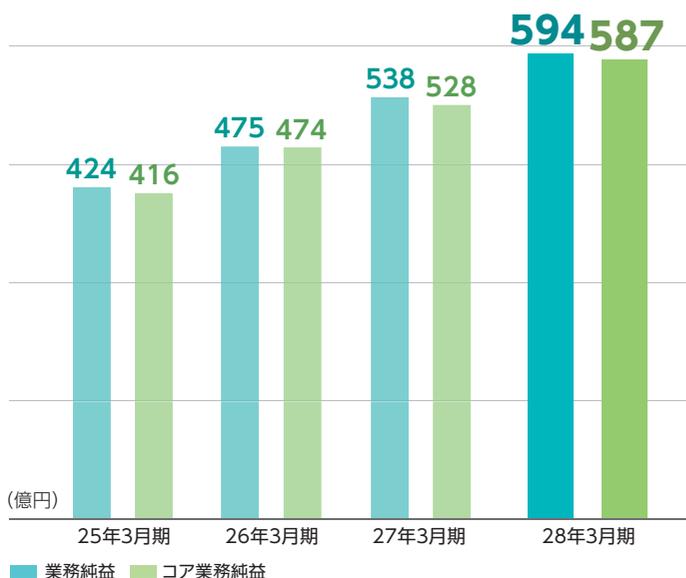


### ■ 資金利益／業務粗利益

業務粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表し、貸出金や有価証券、預金などの利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、外国為替などの売買損益を表す「その他業務利益」により構成されます。

資金利益は収益性の高い個人ローンを中心とした貸出金残高が引き続き順調に推移したことや貸出金利回りが上昇したことなどにより、前期比72億円増加しました。

業務粗利益、資金利益ともに、最高益を更新することができました。



### ■ 業務純益／コア業務純益

当社のコアビジネスのひとつである個人ローン残高が順調に増加し、コア業務純益は前期比59億円増加しました。

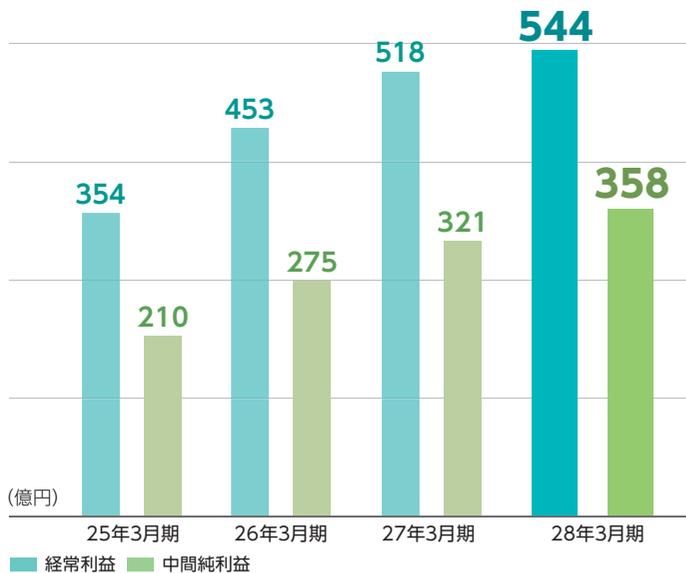
業務純益は資金利益の増加などにより、前期比56億円増加しました。コア業務純益、業務純益ともに、最高益を更新することができました。

業務純益は、銀行本来の業務に関する収益力を表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当するものです。

コア業務純益は、業務純益から特殊な要因で変動する一般貸倒引当金繰入額と国債等債券損益の影響を除いたもので、より実質的な銀行本来の業務に関する収益力を表しています。

業務純益＝業務粗利益－経費－一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

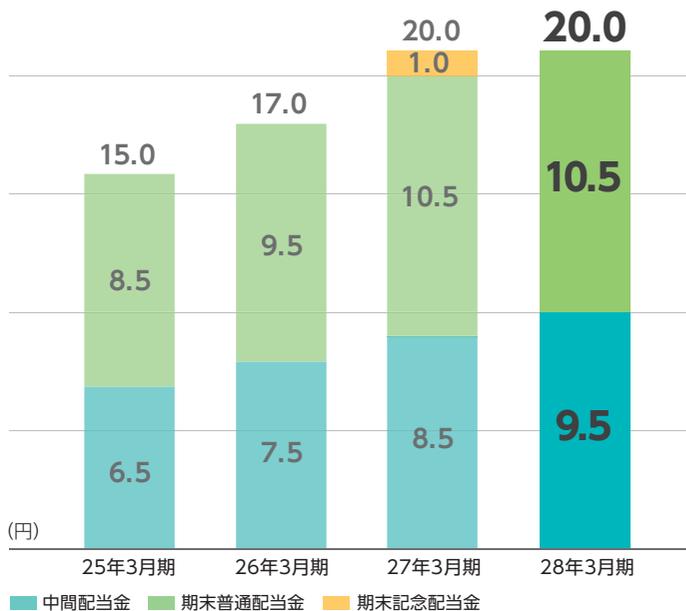


## ■ 経常利益／当期純利益

経常利益は、業務純益の増加などにより、前期比26億円増加しました。

当期純利益は、経常利益の増加などにより、前期比37億円増加しました。

経常利益、当期純利益ともに、最高益を更新することができました。

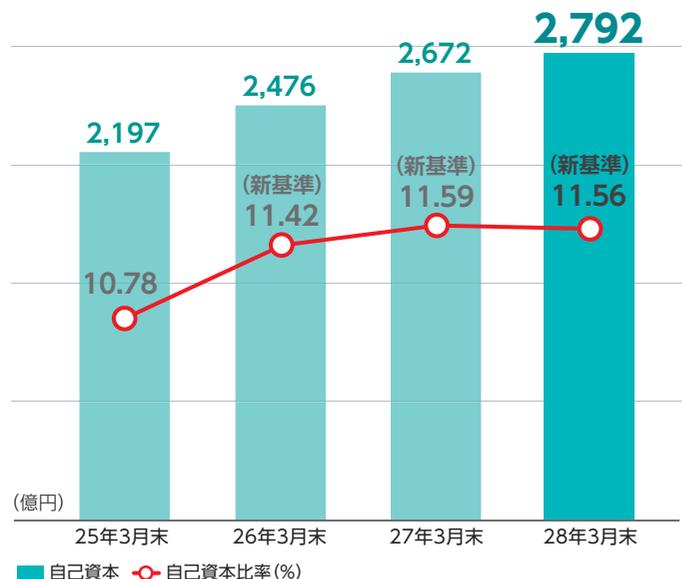


## ■ 一株当たり年間配当金

個人ローン残高が引き続き順調に増加し、業務粗利益、経常利益、当期純利益等が最高益を更新するなど、期初の業績見通しを上回る結果となったことから、一株当たり年間配当金を予定より1円増配し、合計20円といたしました。

今後も財務体質の強化を図るとともに、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題のひとつとして、積極的に取り組んでまいります。

## 営業の概況



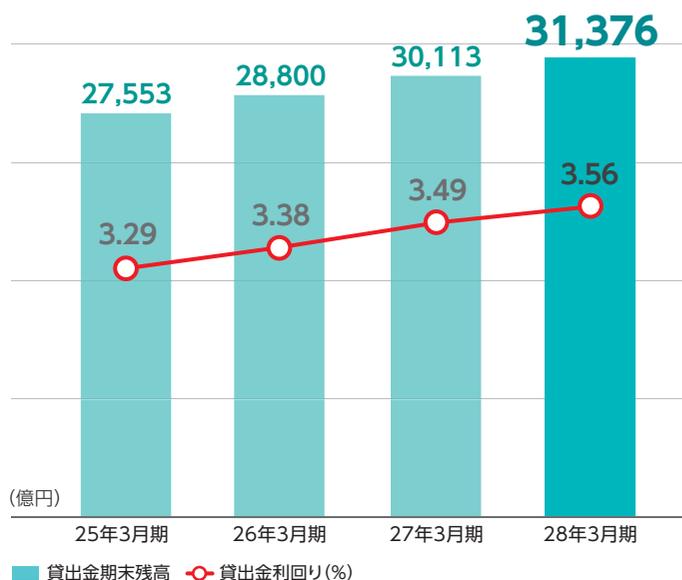
### ■ 自己資本／自己資本比率（国内基準）

経営の健全性を示す自己資本比率につきましては、利益の積み上げに伴う内部留保の増加により11.56%と、引き続き高水準を維持しております。

※自己資本および自己資本比率は、26年3月末よりバーゼルⅢを踏まえた新基準(国内基準)にて算出しております。(経過措置を適用)

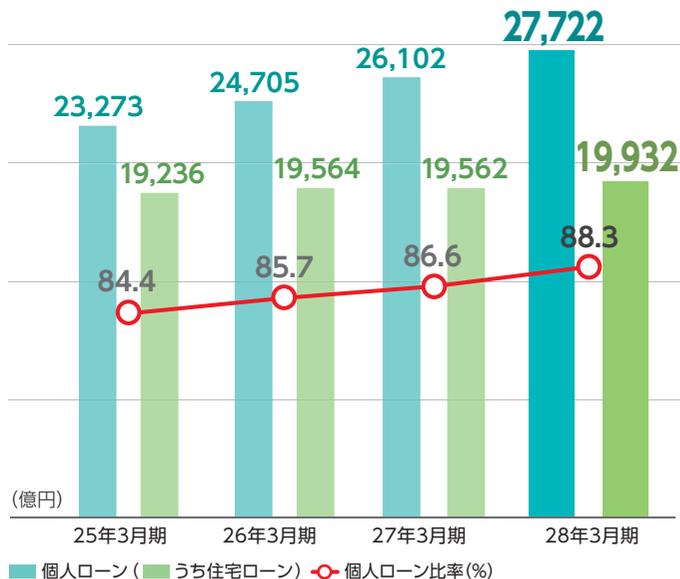
自己資本は〈自己資本に係る基礎項目〉から〈自己資本に係る調整項目〉を控除して算出しております。当社の〈自己資本に係る基礎項目〉は資本金、資本剰余金、利益剰余金等と一般貸倒引当金により構成しております。

自己資本比率=自己資本額(自己資本に係る基礎項目-自己資本に係る調整項目)／リスクアセット等×100



### ■ 貸出金期末残高／貸出金利回り

貸出金期末残高は、個人ローンの順調な増加により、前期比1,263億円増加し、3兆1,376億円となりました。また、貸出金利回りは、前期比0.07%上昇し、3.56%となりました。

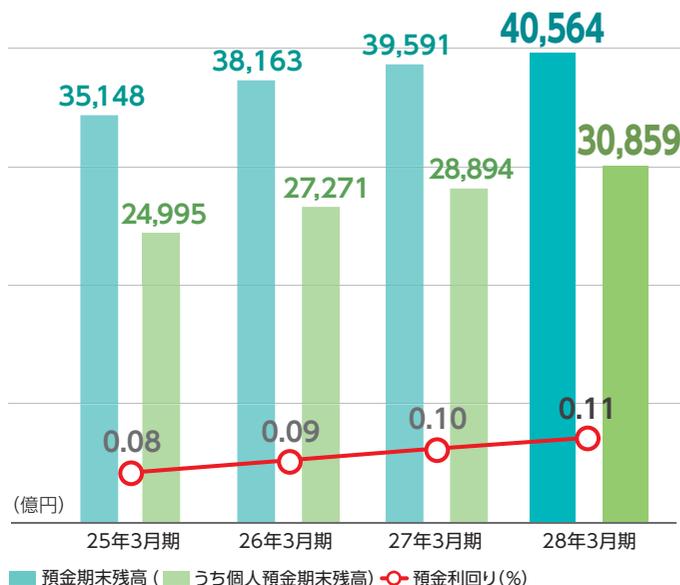


## ■ 個人ローンの推移

個人ローン残高は、さまざまな資金ニーズにお応えできるフリーローンの増加を主因に前期比1,620億円増加し、2兆7,722億円となりました。

住宅ローン期末残高は、前期比370億円増加し、1兆9,932億円となりました。

総貸出金に占める個人ローンの比率は88.3%となりました。



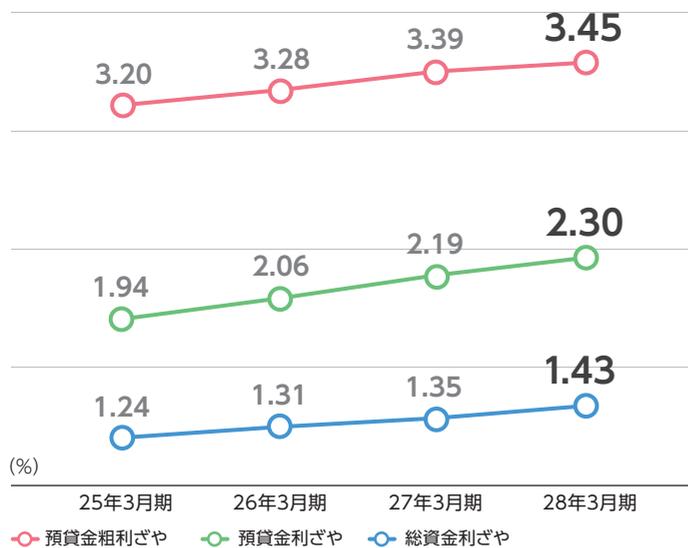
## ■ 預金期末残高／預金利回り

預金期末残高は、個人預金などの増加により、前期比973億円増加し、4兆564億円となりました。

個人預金期末残高は、前期比1,965億円増加し、3兆859億円となりました。

預金利回りは前期比0.01%上昇し、0.11%となりました。

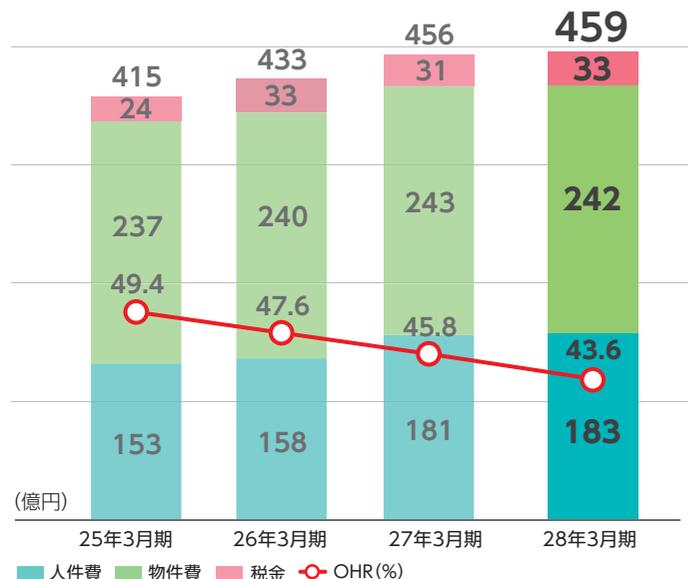
## 営業の概況



### ■ 預貸金粗利ざや／預貸金利ざや／総資金利ざや

預貸金粗利ざやは、貸出金利回りに対し預金利回りを控除した、銀行における主要事業の収益性を表すものです。預貸金利ざやは、預貸金粗利ざやからさらに経費率を控除したものです。総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。

預貸金粗利ざやは、貸出金利回りが上昇したことなどから、前期比0.06%拡大し、引き続き高い収益性を維持しております。

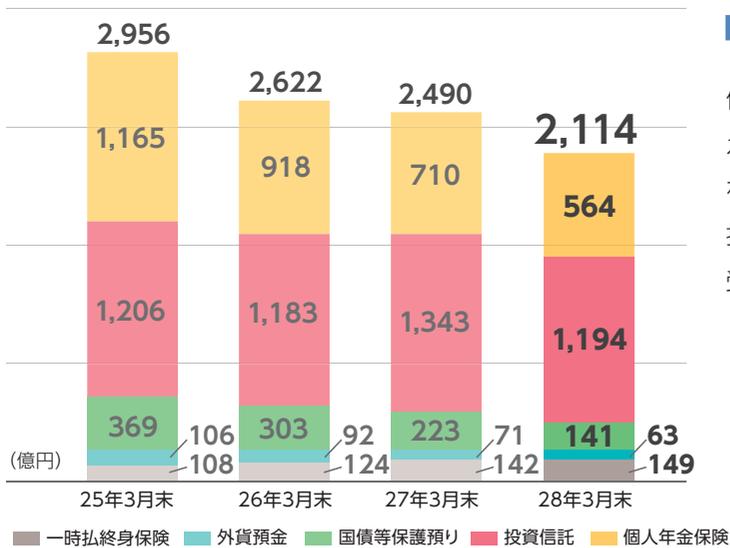


### ■ 経費／OHR

経費は、人件費や税金の増加などにより、前期比3億円増加し、459億円となりました。

業務の効率性を示す指標であるOHR(オーバーヘッドレシオ)は、業務粗利益が最高益となったことなどから前期比2.2%低下し、43.6%となりました。

$$\text{OHR(オーバーヘッドレシオ(\%))} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

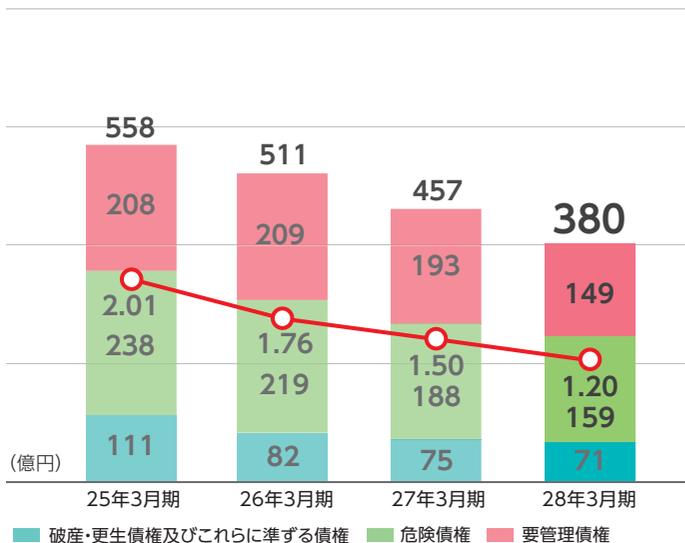


### ■個人預り資産残高(投資性商品)

個人預り資産(投資性商品)の期末残高は、契約期間満了を迎えたことによる個人年金保険の減少や円貨預金へのシフトなどを受けて、前期比376億円減少し、2,114億円となりました。

投資信託については、年度中盤からの株式市場の低迷などを受けて、前期比149億円減少し、1,194億円となりました。

## 不良債権の状況



### ■金融再生法開示債権残高・比率の推移

金融再生法開示債権残高は、マクロ経済の緩やかな回復や、経営改善支援などの取引先支援により前期比77億円減少し、380億円となりました。

総与信額に対する開示債権比率は、前期比0.30%低下し、1.20%となりました。

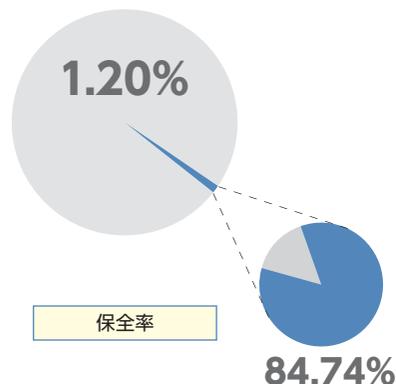
$$\text{開示債権比率(\%)} = \frac{\text{開示債権残高}}{\text{総与信残高}} \times 100$$

# 不良債権の状況

## 金融再生法に基づく開示債権

対象:要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権および当社保証付私募債

総与信残高に占める比率

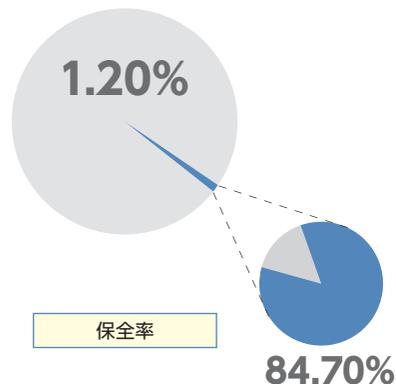


		担保・保証	引当額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	71億円	47億円	24億円	100.00%
危険債権	159億円	131億円	9億円	88.55%
要管理債権	149億円	85億円	24億円	73.43%
小計	380億円	264億円	58億円	84.74%
正常債権	3兆1,206億円			
合計	3兆1,586億円			

## リスク管理債権

対象:貸出金

総貸出金に占める比率



破綻先債権	8億円
延滞債権	221億円
3か月以上延滞債権	3億円
貸出条件緩和債権	146億円
合計	379億円

貸出金残高(未残) 3兆1,376億円

## 自己査定における債務者区分

対象:貸出金等と信関連債権

破綻先	8億円
実質破綻先	62億円
破綻懸念先	159億円
要注意先	
要管理先	249億円
要管理先以外の要注意先	1,687億円
正常先	2兆9,419億円
合計	3兆1,586億円

※貸出金等と信関連債権:貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息

# 財務情報

## 第205期末 連結貸借対照表(平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	897,074
コールローン及び買入手形	3,006
商品有価証券	50
金銭の信託	1,046
有価証券	230,078
貸出金	3,137,164
外国為替	3,534
リース債権及びリース投資資産	5,531
その他資産	43,196
有形固定資産	50,849
建物	13,097
土地	25,427
リース資産	9
建設仮勘定	235
その他の有形固定資産	12,079
無形固定資産	30,007
ソフトウェア	27,308
のれん	2,071
リース資産	11
ソフトウェア仮勘定	231
その他の無形固定資産	384
退職給付に係る資産	5,276
繰延税金資産	2,120
支払承諾見返	3,476
貸倒引当金	△22,265
資産の部合計	4,390,146

科目	金額
(負債の部)	
預金	4,049,494
借入金	2,085
外国為替	13
その他負債	27,653
賞与引当金	716
役員賞与引当金	153
退職給付に係る負債	258
役員退職慰労引当金	3,248
睡眠預金払戻損失引当金	276
偶発損失引当金	262
繰延税金負債	271
支払承諾	3,476
負債の部合計	4,087,908
(純資産の部)	
資本金	30,043
利益剰余金	253,182
自己株式	△750
株主資本合計	282,475
その他有価証券評価差額金	16,121
繰延ヘッジ損益	△83
退職給付に係る調整累計額	1,517
その他の包括利益累計額合計	17,556
新株予約権	61
非支配株主持分	2,144
純資産の部合計	302,237
負債及び純資産の部合計	4,390,146

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。 10

# 財務情報

## 第205期 連結損益計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	139,430
資金運用収益	118,650
貸出金利息	113,552
有価証券利息配当金	3,989
コールローン利息及び買入手形利息	112
預け金利息	830
その他の受入利息	164
役務取引等収益	13,022
その他業務収益	4,932
国債等債券売却益	39
国債等債券償還益	797
その他の業務収益	4,095
その他経常収益	2,824
償却債権取立益	923
株式等売却益	187
持分法による投資利益	18
その他の経常収益	1,696
経常費用	83,035
資金調達費用	4,685
預金利息	4,557
借入金利息	21
その他の支払利息	106
役務取引等費用	14,915
その他業務費用	3,703
国債等債券償還損	199
その他の業務費用	3,503
営業経費	48,940
その他経常費用	10,791
貸倒引当金繰入額	879
貸出金償却	4,744
株式等償却	0
その他の経常費用	5,167
経常利益	56,395

科目	金額
特別利益	26
固定資産処分益	26
特別損失	509
固定資産処分損	489
減損損失	19
税金等調整前当期純利益	55,912
法人税、住民税及び事業税	19,426
法人税等調整額	△387
法人税等合計	19,039
当期純利益	36,873
非支配株主に帰属する当期純利益	156
親会社株主に帰属する当期純利益	36,717

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第205期 連結株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

	株主資本					(単位:百万円)
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	30,043	21,013	229,924	△ 16,110	264,870	
当期変動額						
剰余金の配当			△ 4,983		△ 4,983	
親会社株主に帰属する 当期純利益			36,717		36,717	
自己株式の取得				△ 14,364	△ 14,364	
自己株式の処分		92		143	235	
自己株式の消却		△ 21,106	△ 8,474	29,581	—	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	△ 21,013	23,258	15,360	17,604	
当期末残高	30,043	—	253,182	△ 750	282,475	

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	21,673	△ 101	3,613	25,185	112	1,959	292,128
当期変動額							
剰余金の配当							△ 4,983
親会社株主に帰属する 当期純利益							36,717
自己株式の取得							△ 14,364
自己株式の処分							235
自己株式の消却							—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 5,552	18	△ 2,095	△ 7,629	△ 51	185	△ 7,495
当期変動額合計	△ 5,552	18	△ 2,095	△ 7,629	△ 51	185	10,109
当期末残高	16,121	△ 83	1,517	17,556	61	2,144	302,237

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。12

# 財務情報

## 第205期末 貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	896,454
現金	26,515
預け金	869,939
コールローン	3,006
商品有価証券	50
商品国債	2
商品地方債	48
金銭の信託	1,046
有価証券	234,032
国債	145,059
地方債	4,159
社債	2,003
株式	56,282
その他の証券	26,526
貸出金	3,137,614
割引手形	1,557
手形貸付	27,885
証書貸付	2,741,061
当座貸越	367,109
外国為替	3,534
外国他店預け	2,018
買入外国為替	0
取立外国為替	1,515
その他資産	34,412
前払費用	1,777
未収収益	9,169
先物取引差入証拠金	200
金融派生商品	286
その他の資産	22,979
有形固定資産	49,463
建物	12,430
土地	24,855
リース資産	538
建設仮勘定	235
その他の有形固定資産	11,403
無形固定資産	27,462
ソフトウェア	26,886
ソフトウェア仮勘定	201
その他の無形固定資産	375
前払年金費用	3,177
繰延税金資産	2,477
支払承諾見返	4,096
貸倒引当金	△15,607
資産の部合計	4,381,220

科目	金額
(負債の部)	
預金	4,056,482
当座預金	59,595
普通預金	1,190,612
貯蓄預金	17,626
通知預金	92,700
定期預金	2,540,483
その他の預金	155,463
外国為替	13
売渡外国為替	13
その他負債	22,452
未払法人税等	10,744
未払費用	5,775
前受収益	114
従業員預り金	795
リース債務	539
金融派生商品	1,958
その他の負債	2,525
賞与引当金	674
役員賞与引当金	153
退職給付引当金	78
役員退職慰労引当金	3,246
睡眠預金払戻損失引当金	276
偶発損失引当金	262
支払承諾	4,096
負債の部合計	4,087,737
(純資産の部)	
資本金	30,043
資本剰余金	18,585
資本準備金	18,585
利益剰余金	230,096
利益準備金	30,043
その他利益剰余金	200,052
(固定資産圧縮積立金)	( 59)
(別途積立金)	( 103,032)
(繰越利益剰余金)	( 96,961)
自己株式	△750
株主資本合計	277,974
その他有価証券評価差額金	15,525
繰延ヘッジ損益	△78
評価・換算差額等合計	15,446
新株予約権	61
純資産の部合計	293,482
負債及び純資産の部合計	4,381,220

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第205期 損益計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経常収益	127,267	経常費用	72,835
資金運用収益	112,248	資金調達費用	4,681
貸出金利息	107,171	預金利息	4,558
有価証券利息配当金	3,968	金利スワップ支払利息	5
コールローン利息	112	その他の支払利息	117
預け金利息	830	役務取引等費用	14,952
金利スワップ受入利息	0	支払為替手数料	873
その他の受入利息	164	その他の役務費用	14,078
信託報酬	0	その他業務費用	199
役務取引等収益	12,004	国債等債券償還損	199
受入為替手数料	2,387	営業経費	45,482
その他の役務収益	9,616	その他経常費用	7,519
その他業務収益	911	貸出金償却	2,916
外国為替売買益	73	株式等償却	0
商品有価証券売買益	0	金銭の信託運用損	182
国債等債券売却益	39	その他の経常費用	4,419
国債等債券償還益	797	経常利益	54,432
その他経常収益	2,103	特別利益	26
貸倒引当金戻入益	684	固定資産処分益	26
償却債権取立益	618	特別損失	488
株式等売却益	183	固定資産処分損	468
その他の経常収益	617	減損損失	19
		税引前当期純利益	53,970
		法人税、住民税及び事業税	18,672
		法人税等調整額	△508
		法人税等合計	18,163
		当期純利益	35,807

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務情報

## 第205期 株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	30,043	18,585	1,511	20,097	30,043	57	103,032	94,115	227,248
当期変動額									
剰余金の配当								△4,983	△4,983
当期純利益								35,807	35,807
自己株式の取得									-
自己株式の処分			92	92					-
自己株式の消却			△1,604	△1,604				△27,976	△27,976
圧縮積立金の積立						1		△1	-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	△1,511	△1,511	-	1	-	2,846	2,847
当期末残高	30,043	18,585	-	18,585	30,043	59	103,032	96,961	230,096

	株主資本		評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算差額等 合計		
当期首残高	△16,110	261,279	21,157	△99	21,058	112	282,450
当期変動額							
剰余金の配当		△4,983					△4,983
当期純利益		35,807					35,807
自己株式の取得	△14,364	△14,364					△14,364
自己株式の処分	143	235					235
自己株式の消却	29,581	-					-
圧縮積立金の積立		-					-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△5,632	20	△5,611	△51	△5,663
当期変動額合計	15,360	16,695	△5,632	20	△5,611	△51	11,032
当期末残高	△750	277,974	15,525	△78	15,446	61	293,482

(注)記載金額は百万円  
未満を切り捨てて  
表示しております。

# 株式についてのご案内

## ◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行ないます。

## ◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

## ◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。  
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

## ◇ 剰余金配当基準日

3月31日(期末配当)

9月30日(中間配当)

そのほか、当社が定めた基準日

## ◇ 公告の方法

電子公告といたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

## ◇ 株主名簿管理人ならびに特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

同事務取扱場所

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

同連絡先

〒168-8620

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

日本証券代行株式会社 代理人部

電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

## ◇ 単元株式数について

当社株式の流動性の向上ならびに個人投資家を含めた全ての投資家層の拡大を図るため、単元株式数は次のとおりであります。

- (1) 当社の単元株式数は、100株であります。
- (2) 平成26年8月4日開催の当社取締役会にて単元株式数の変更ならびに当社定款第7条の変更を決議し、平成26年9月1日より単元株式数は、1,000株から100株に変更となりました。

## ◇ お知らせ

- (1) お届け内容(ご住所、配当金振込先など)の変更、ご相続、その他諸手続きについて  
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱しております。  
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (2) 配当金の受取について  
配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ちください。また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金の受取について  
株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせください。
- (4) 単元未満株式(100株未満の株式)の買取・買増請求について  
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱しております。  
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (5) 特別口座から一般口座への振替申請手続きについて  
特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。  
注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開設されているときは不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行なってください。

## トピックス

### 「空き家解決ローン」取扱開始

平成28年2月22日、高齢化の進展や人口減少に伴い、社会問題となっている空き家の課題解決をサポートする、「空き家解決ローン」のお取扱いを開始いたしました。

本商品は、「空き家」の解体や活用のみならず、維持管理に係る資金につきましてもご利用いた

いただけます。

当社は、ステークホルダーの期待に応え、社会の一員としての役割を認識し、今後も地方創生の取組みを推進してまいります。



### 「積立定期預金満期型」取扱開始

平成28年1月4日、「積立定期預金満期型」のお取扱いを開始いたしました。“将来の具体的な目標までに着実にお金を貯めたい”といったお客さまのご要望にお応えした、ご自身でお預入期間を設定いただける商品です。当社の「積立定期預金」は本商品を含め、4種類となります。今後も、お客さまのご要望やニーズにきめ細かくお応えする商品・サービスのご提供をしております。

### リニューアル店舗 続々オープン

より身近で便利な店舗ネットワークを目指し、既存店舗を順次リニューアルしております。

平成27年は9月7日に沼津駅支店、11月2日に相模原支店、11月16日に焼津支店、11月19日に磐田支店、12月14日に伊豆稲取支店、平成28年は3月7日に富士鷹岡支店、4月18日に茅ヶ崎鶴が台支店、5月16日に福岡支店を移転し、装いも新たに新店舗にて営業を開始いたしました。引き続き、お客さまが快適にお過ごしいただける店舗づくりを進めてまいります。



焼津支店外観



富士鷹岡支店店内

### 「リクルート支店」新規オープン

平成28年5月26日、株式会社リクルートホールディングスと業務提携し、インターネット支店「リクルート支店」を新たにオープンいたしました。

「リクルート支店」では、「ゼクシィ結婚式費用立替えプラン」や「SUUMO提携住宅ローン」など、リクルートの各種サービスと連携したオリジナルサービスが特長です。その他、取引に応じてリクルートポイントが貯まる「Visaデビットカード」や「口座振替サービス」、「定期預金」、「投資信託」等特典付き商品を多数ご用意しております。

今後も、お客さまの人生や夢、さまざまなライフイベントにおける、金融サービスの利便性向上を目指し、より良いライフスタイルの実現をお手伝いしてまいります。



- リクルート支店  
0120-60-2225  
月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00  
<http://www.surugabank.co.jp/recruit/>

### 未来設計アプリ「d-wallet」提供開始

平成28年4月11日より、家計簿・資産管理機能とライフプランシミュレーションを連動させた、未来設計アプリ「d-wallet」のご提供を開始いたしました。

本アプリは、邦銀初となる「ライフプランニング」機能を搭載しており、10の質問に回答するだけで簡単にライフプランシミュレーションをご作成いただけます。また、預金口座やSURUGA Visa デビットカード、SURUGA Visa クレジットカードのご利用明細を反映し、家計簿を自動作成する機能も搭載しており、日々の予算管理を手軽にしていただけます。



### 「しずおか観光活性化ファンド」へ出資

平成27年9月30日、静岡県の観光産業発展に資する企業・事業を支援するために設立された、「しずおか観光活性化投資事業有限責任組合(しずおか観光活性化ファンド)」に出資いたしました。

本ファンドを通じ、全国でも有数の観光資源を有する静岡県内の集客周遊を喚起し、地域経済の活性化を目指してまいります。

## “夢”の応援活動

スルガ銀行はお一人おひとりの〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝いをしております。

### 夢で繋がるコミュニケーションスペース「d-labo」

お客さまの夢を応援するコミュニケーションスペース「d-labo」では、お客さまと夢の接点を創るためにさまざまなイベント、セミナーの開催や、新しいライフスタイルのご提案、情報の発信を行なっております。



### 新しい発見が溢れる体験型ワークショップ



平成28年2月6日開催  
「ねじねじアート」一ツ山チエさんと  
干支のサルを創ってみよう  
@d-labo静岡



平成27年12月5日開催  
光の造形～明るい空間と暗い空間を行き来しながら光の色とかたちを楽しむ～  
@d-laboたまプラーザ



平成28年1月21日開催  
中津帯をつくろう！  
～手しごとの素晴らしさに触れる～  
@d-labo二子玉川

### お客さまと社員との夢の接点づくり

スルガ銀行社員による  
セミナーを開催

平成27年7月28日開催  
手作りフェルト小物教室  
@d-labo湘南



### 「d-labo」内外に広がる夢仲間

仲間が集い  
イベントを企画



平成27年6月23日開催  
ロードバイクのある充実した生活  
@d-laboミッドタウン

ライブイベントを  
開催



平成27年10月29日開催  
プロロードレーサー西加南子さんと走る  
ファンサイクリング  
@御殿場サイクルステーション

### 「I DREAM」サッカーを通じて“夢”を応援

「夢」をミッションに掲げる企業として、「I DREAM」をコンセプトにサッカーに関わるあらゆる夢を応援しております。

日本サッカー界において最も権威と伝統がある「天皇杯」をはじめ、日本王者と南米王者が対決する国際大会「スルガ銀行チャンピオンシップ」、社会人たちの熱い戦いが繰り広げられる「SURUGA bank CUP フットサルフェスタ」、静岡県内の各年代別に開催している「スルガカップ」等に協賛しております。



平成28年1月1日開催  
「第95回天皇杯」決勝戦 ©JFA



「SURUGA I DREAM Award」  
表彰式 ©JFA



平成27年8月11日開催  
「スルガ銀行チャンピオンシップ2015  
OSAKA」©JFA



平成27年10月10日～12日開催  
「スルガカップ2015静岡県国際ユース  
(U-15)サッカー大会」

### Webサッカーマガジン「I DREAM」

サッカーを愛するすべての人のため、サッカーに関するさまざまな情報を発信しています。サッカーを愛して止まない有名人やサッカー選手のインタビュー等充実したコンテンツがいっぱいです。  
<http://www.idream-jp.com/>



## CSR活動 社会・地域とのつながり

当社は社会の一員として役割や責任を認識し、お客さま、株主さま、地域社会等各ステークホルダーのご期待に応え、継続的に社会的責任を果たしてまいります。

### 教育・文化・福祉等支援活動の取り組み

#### スルガ奨学財団

当社設立者岡野喜太郎翁の100歳を記念して設立され、高校在学3年間、大学在学4年間、外国人留学生の大学在学2年間、それぞれ返済義務のない奨学金を給与しております。  
奨学金制度による卒業生は平成28年3月末で5,382名にのぼります。



#### 「チームラボアイランド Presented by スルガ銀行」への冠協賛

沼津ラクーン(静岡県)にて行なわれた「チームラボアイランドー学ぶ!未来の遊園地ー」(平成27年8月1日~31日開催)に冠協賛いたしました。  
最新のデジタルテクノロジーを使った創造的なアートの体験により、子供たちの五感を刺激し、新たな可能性を発見する機会を提供いたしました。



お絵かき水族館の様子

#### 重度障がい者支援活動

重度障がい者に雇用機会を提供し、社会的経済的自立を促進するとともに、技術習得を図ること等を目的とした印刷会社、株式会社エイ・ピー・アイ(特例子会社)を静岡県、沼津市および当社の共同出資で平成2年に設立いたしました。  
本誌の印刷は同社の協力のもとに作成しております。



#### ベルナール・ビュフェ美術館

現代フランス画壇の巨匠であるベルナール・ビュフェの作品約2,000点を収蔵しております。  
「ビュフェと1940-50年代 不条理に対峙する絵画」展では、戦後、若き奇才としてデビューしたビュフェの初期作品を当時のフランスの思想や文化背景とともにご覧いただきました。



#### 企業経営研究所

地域経済社会の新しい方向性の模索と中堅・中小企業の発展への寄与を目的に設立され、各種研究活動や情報提供に取り組んでおります。  
平成28年1月、国際交流支援事業として、静岡県内の外国人講師への研修助成ならびに国際交流に功勞のあった県内団体への表彰を行ないました。



#### 井上靖文学館

文豪・井上靖の作品群を読み継ぐために、ゆかりの資料や愛用品を保存し、公開しております。  
また、企画展や出前講座等の実施や、夏休みには子供向けワークショップを開催しております。平成28年4月より、地域の小学校への「出張授業」の取り組みを開始いたしました。



# 主なインターネット支店一覧

●詳細は各支店のホームページをご覧ください。

銀行取引でマイルが貯まる新しいマイレージ&バンキングスタイル

## ANA支店

<http://www.surugabank.co.jp/ana/>

☎ 0120-029-589

(海外から (81)55-98-02988)

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:30～17:00



11人もの億万長者誕生の実績!

## ドリームダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/dream/>

☎ 0120-86-1689

お電話承り時間

月～土曜日(祝日を除く)9:00～17:00



銀行取引に応じてTポイントが貯まる

## Tポイント支店

<http://www.surugabank.co.jp/tpoint/>

☎ 0120-854-789

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



ゆうちょ銀行でお申し込みできるスルガ銀行のローンお取引店

## ゆうちょ専用支店

<http://www.surugabank.co.jp/yb/>

☎ 0120-745-600

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



インターネットを活用した金融サービスをご提供

## Dバンク支店

<http://www.d-laboweb.jp/d-bank/>

☎ 0120-55-4189

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



あなたの夢を応援するローンサービスをご提供

## ダイレクトワン支店

<http://www.surugabank.co.jp/directone/>

☎ 0120-60-1616

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



銀行取引に応じてドコモポイントが貯まる

## Dバンク支店 dポイントクラブ応援バンク

<http://www.surugabank.co.jp/docomo/>

☎ 0120-17-2038

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



女性向けのバンキングサイト

## ソネット支店

<http://www.surugabank.co.jp/so-net/>

☎ 0120-50-2189

お電話承り時間

月～土曜日(祝日を除く)9:00～17:00



OCN会員の方専用の金融サービスが充実

## OCN支店

<http://www.surugabank.co.jp/ocn/>

☎ 0120-005-175

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



付加価値の高いビジネスローンサービスをご提供

## イービジネスダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/ebusinessdirect/>

☎ 0120-185-285

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



# 営業店舗網(132か店) (平成28年4月30日現在)

## ●静岡県(77か店)

- 9E◎ 本店営業部
- 5 沼津市役所出張所
- 9E◎ 沼津駅支店
- 8E◎ 沼津港支店
- 9E◎ 沼津南支店
- 8E 沼津静浦支店
- 9E◎ 沼津セントラル支店
- 9E◎ 沼津岡宮支店
- 9E 沼津あしたか支店
- 9E◎ 沼津青野支店
- 9E◎ 沼津原町支店
- 9E◎ 三島セントラル支店
- 9E◎ 三島支店
- 9E◎ 三島西支店
- 9E◎ 長泉支店
- 8E ウェルディ長泉出張所
- 9E◎ 清水町支店
- 9E 徳倉支店
- 9E◎ 大場支店
- 9E◎ 伊豆長岡支店
- 9E◎ 伊豆中央支店
- 8E◎ 修善寺支店
- 8E◎ 中伊豆支店
- 9E◎ 熱海支店
- 9E◎ 熱海駅支店
- 9E◎ 伊東支店
- 9E◎ 伊東駅支店
- 8E◎ 伊豆稲取支店
- 8E◎ 下田支店
- 8E◎ 松崎支店
- 9E◎ 御殿場駅支店
- 9E◎ 御殿場西支店
- 9E◎ 御殿場東支店
- 9E◎ 小山支店
- 8E◎ 裾野支店
- 9E◎ 富士吉原支店
- 9E◎ 富士支店
- 9E◎ 富士鷹岡支店
- 8E◎ 富士宮支店
- 8E◎ 清水支店

- 9E◎ 清水駅支店
- 9E◎ 清水三保支店
- 8E 清水高橋支店
- 9E 興津支店
- 9E◎ 草薙支店
- 9E◎ 静岡支店
- 6◎ 静岡県庁支店
- 9E◎ 静岡南支店
- 9E◎ 静岡東支店
- 9E◎ 東静岡支店
- 8E◎ 伝馬町支店
- 8E◎ 焼津支店
- 9E◎ 岡部支店
- 9E◎ 藤枝支店
- 8E◎ 島田支店
- 10E◎ 金谷支店
- 9E◎ 榛原支店
- 8E◎ 相良支店
- 9E◎ 掛川支店
- 9E 掛川駅前出張所
- 8E◎ 袋井支店
- 8E◎ 磐田支店
- 9E◎ 浜松支店
- 8E◎ 浜松追分支店
- 8E 天竜支店
- \* ANA支店
- \* OCN支店
- \* ソネット支店
- \* ドリームダイレクト支店
- \* Dバンク支店
- \* Tポイント支店
- \* マイ支店
- \* ダイレクトワン支店
- \* イービジネスダイレクト支店
- \* タウンネットワーク支店
- \* ハウジングローン支店

## ●神奈川県(39か店)

- 7E 川崎支店
- 9E たまプラーザ支店
- 8E◎ 横浜支店

- 6 神奈川県庁出張所
- 11E◎ 横浜東口支店
- 11E◎ 横浜日吉支店
- 9E◎ 横浜戸塚支店
- 8E◎ 横浜弥生台支店
- 8E◎ 横浜若葉台支店
- 9E◎ 横浜磯子支店
- 9E◎ 横浜六ツ川支店
- 9E◎ 横須賀支店
- 8E◎ 横須賀武山支店
- 9E◎ 久里浜支店
- 8E◎ 三浦海岸支店
- 9E◎ 藤沢支店
- 8E◎ 鎌倉支店
- 8E◎ 湘南ライフタウン支店
- 9E◎ 湘南台支店
- 6 慶應義塾大学出張所
- 9E◎ 辻堂支店
- 9E◎ 茅ヶ崎支店
- 9E◎ 茅ヶ崎鶴が台支店
- 8E 浜見平支店
- 9E◎ 平塚支店
- 9E◎ 厚木支店
- 9E◎ 厚木鷹尾支店
- 8E◎ 相模原支店
- 8E◎ 東林間支店
- 8E◎ 中央林間支店
- 9E◎ 海老名支店
- 9E◎ 秦野支店
- 9E◎ 小田原支店
- 9E◎ 小田原東支店
- 9E◎ 大井松田支店
- 8E◎ 南足柄支店
- 9E◎ 箱根支店
- 8E 湯河原支店
- ◇ 湘南T-SITE出張所

## ●東京都(7か店)

- 9E◎ 東京支店
- 6E 渋谷支店
- 6E 新宿支店

- 7E ミッドタウン支店
- 7E 二子玉川支店
- \* ゆうちょ専用支店
- ◇ ANA支店
- FINANCIAL SPACE

## ●その他(9か店)

- 6 札幌支店
- 6 仙台支店
- 6 大宮出張所
- 6 千葉出張所
- 6 名古屋支店
- 6 京都支店
- 6 大阪支店
- 6 広島支店
- 6 福岡支店

### ローンご相談窓口

ドリームプラザ日本橋	横須賀ハウジングローンセンター
ドリームプラザ渋谷	湘南ハウジングローンセンター
ドリームプラザ新宿	平塚ハウジングローンセンター
ドリームプラザ横浜	厚木ハウジングローンセンター
ドリームプラザ札幌	中央林間ハウジングローンセンター
ドリームプラザ仙台	小田原ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大宮	三島ハウジングローンセンター
ドリームプラザ千葉	静岡ハウジングローンセンター
ドリームプラザ名古屋	浜松ハウジングローンセンター
ドリームプラザ京都	
ドリームプラザ大阪	
ドリームプラザ広島	
ドリームプラザ福岡	

### 資産運用ご相談窓口

ドリームサロン日本橋	ドリームサロン藤沢
ドリームサロン渋谷	ドリームサロン茅ヶ崎
ドリームサロン新宿	ドリームサロン厚木
ドリームサロン横浜	ドリームサロン小田原

### 緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下緊急サポートセンターへご連絡ください。

スルガ銀行緊急サポートセンター

☎ 055-987-8182 24時間365日(有人受付)  
同時に最寄りの警察(交番)にもお届けください。





詳しい内容、お問い合わせは

アクセス  
センター  **0120-50-8689**  
お電話承り時間 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～19:00

ホーム  
ページ [www.surugabank.co.jp](http://www.surugabank.co.jp)



JQA-QM4469  
JQA-EM1256  
JQA-IM0301  
アクセスセンター